ともしび

第136号
平成25年1月1日
題字は(故)黒川利雄博士

宮城県がん征圧イメージキャラクター

検診の特色

- 高い精密検査受診率と高い早期がん発見率
- 専門医療機関紹介
- 高い信頼性に基づく精度管理
- 一貫したデータ管理

目　次

新春のご挨拶……2
お酒と咽頭・食道がんの発生リスク……3
イベント紹介……9
街頭活動委員会の活動報告……13
みやぎよろこびの会活動報告……14
がん相談・がん受診券のご案内……16
ご寄付いただいた方々……17
「黒川利雄がん研究基金」ご案内……20

公益財団法人　宮城県対がん協会

新春のご挨拶

公益財団法人　宮城県対がん協会
会　長　久　道　　茂

新年明けましておめでとうございます。

一昨年の東日本大震災以来約２年が経ちました。宮城県をはじめ多くの地域で人命が失われ、家屋、会社・事業所、学校、病院などの公共施設も破壊されましが、いまだに積もったがれきは片付かず、震災復興住宅もやっと一部の町で建て始まったばかりです。行方不明の方々も多く、見つかった遺体も身元が分からずという状況が続いております。本当の復旧復興は、いつになるのでしょうか。政治は、被災した住民の生活をそっちのけにして不毛な議論を続けています。震災直後は、がん検診どころではなかった、という方々が多かったのですが、気を取り直して考えてみると、折角災害から逃れることが出来た命を、がんで死亡しないようにすることも大切だと、また気が付き始めました。

先般、平成23年度の宮城県死亡統計を見て驚きました。これまで当たり前のように思っていた死亡第１位のがんが２位になっていたのでした。その代わり、不慮の事故の死亡者数ががんの約２倍近くの第１位になっていたのです。こんなことは今回の被災地３県以外ではないことです。いかに凄まじい大災害だったかが分かります。しかし、このことにいつまでも意気消沈してはいられないのです。立ち上がって前進することが重要です。

本協会の使命は、人々ががんにならないように予防する対策、また、がんになってもそれで命を落とさないですむように早期発見・早期治療のための精度の高いがん検診を普及することです。そのために、がん検診センターの医師を中心に各種診断委員会の先生方や技師、保健師、病歴管理士や事務職員らが協会独自の研究費や厚生労働省などの外部研究費を得てがん予防や検診に関する研究を行っていますし、黒川利雄がん研究基金を用いて全国に公募し、若手がん研究者に対する研究助成も行っています。さらに、医師による「がんなんでも相談」や、宮城県の委託事業「宮城県がん総合支援センター」を協会内に設置し、がん患者さんやその家族の方々にがんの診療、看護、介護などの支援も行っています。

宮城県対がん協会は、平成24年４月から公益財団法人となりました。これまでの事業に加えて、「公益財団法人」らしい新事業を展開し、がんの予防と精度の高いがん検診をさらに推進するべく、役職員一同邁進する覚悟であります。本年もよろしくお願いします。

お酒と咽頭・食道がんの発生リスク

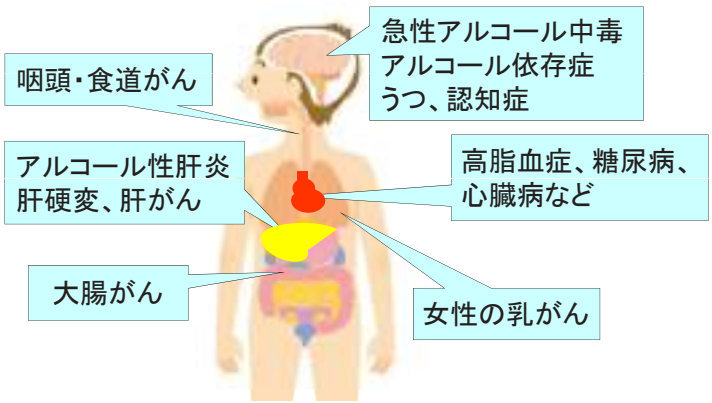
公益財団法人 宮城県対がん協会
消化器担当科長 **加　藤　勝　章**

お酒は“百薬の長”と言われますが、実はその後に“されど万病の元”というフレーズが続くのをご存じでしょうか？確かに、お酒はストレス解消や他人とのコミュニケーションを図るために役立ちます。また、少量の飲酒は、ぼけ防止や脳梗塞・心筋梗塞等の脳・循環器病疾患の発症の予防にも役立つことが知られています。しかし、度を過ぎた飲酒はがんや肝機能障害、糖尿病、高脂血症、メタボリックシンドロームなどの生活習慣病、アルコール依存やうつ、認知症などの健康障害のリスク要因になると言われています。アルコールによる発がんについては、ＷＨＯの下部機関であるＩＡＲＣにおいて、“アルコールは口腔・喉頭がん、食道がん、肝臓がん、女性の乳がん、大腸がんの発生に関係している十分な証拠がある”と認定しています（図１）。さらには、大酒家に胃がんが多いといった報告もあるようです。

こうしたアルコールによる健康障害はアルコール摂取を控えればリスクを低減することが可能であり、疾病の発生を予防できるものです。しかし、酒飲みにとって、やめるにやめられないのがお酒です。お酒を“百薬の長”とするためには、自分のアルコールに対する体質を知り、節度ある適度な量の飲酒を心掛けることが重要です。

ここでは、アルコールに対する体質と咽頭（のど）と食道がんの発生リスクを中心にお話しします。

図１　飲酒による身体への影響



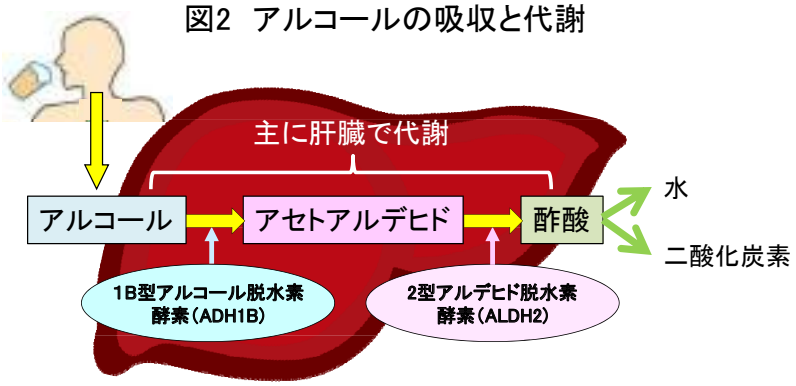
１．お酒はどのように分解されるか

お酒に含まれるアルコール（エタノール）は胃や腸で吸収され（胃20％、小腸80％）ます。お酒を飲んで血中アルコール濃度が上昇すると、アルコールは大脳に作用して、いわゆる酔っ払った状態になります。血液中のアルコールの大部分は肝臓で分解されます（一部は尿や汗、呼気で排泄）。アルコールの分解は主に２つの過程で進みますが、そこで働くのが、アルコール脱水素酵素（ＡＤＨ１Ｂ）とアセトアルデヒド脱水素酵素（ＡＬＤＨ２）と呼ばれる酵

素です（図２）。酵素とはある物質を別な物質に分解する作用を持つタンパク質のことです。

体内に吸収されたアルコールは、まずアルコール脱水素酵素（ＡＤＨ１Ｂ）の働きによってアセトアルデヒドと呼ばれる物質に分解されます。このアセトアルデヒドは非常に毒性の強い物質で、アルコールが分解されてアセトアルデヒドが高くなると顔が赤くなり、動悸や頭痛、吐き気などといった症状が現れます。これをフラッシング反応と言います。アセトアルデヒドがいつまでも体内に残っていると悪酔いや二日酔いを起こすもとになります。アセトアルデヒドは、アセトアルデヒド脱水素酵素（ＡＬＤＨ２）によって無毒の酢酸に分解・解毒され、最終的には水と二酸化炭素となってお酒から覚めた状態に戻ります。

図2　アルコールの吸収と代謝



ADH1B	アルコール分解能	アセトアルデヒドの濃度	ALDH2	アセトアルデヒド分解能	飲酒による不快な反応
高活性型	かなり早い	急上昇	－	－	－
活性型	比較的早い	比較的ゆっくり	活性型	比較的早い	出にくい
低活性型	遅い	遅い	低活性型	遅い	出やすい
－	－	－	不活性	分解できない	強く出る

２．お酒に強い人と弱い人の違い

世の中には、いくらお酒を飲んでも全く酔わないザルのような人や、少し飲んだだけで酔っ払う人、二日酔いしやすい人、お酒を飲むと顔が赤くなったり頭痛がしたりする人、お酒が全く飲めない下戸の人といろいろなタイプの人がいます。また、はじめは弱かったけれどもだんだん飲めるようになり“お酒に強くなった”という人もいます。

こうした違いはアルコール代謝に関わる2つの酵素ＡＤＨ１ＢとＡＬＤＨ２の働き（酵素活性）に強弱があり、体内に吸収されたアルコールやアセトアルデヒドの分解速度に個人差があるためです。アルコールを分解するＡＤＨ１Ｂの活性を見た実験では、活性の低い酵素の分解速度は活性の高い酵素に比べて40分の１のスピードでしかアルコールを分解できず、生体内の実験ではＡＤＨ１Ｂ が低活性型の人では、高活性型の人よりアルコール分解速度が13%遅いと言われています。また、アセトアルデヒド分解速度の遅いＡＬＤＨ２低活性の人は、正常の人に比べ日本酒１合相当の飲酒の後でアセトアルデヒドの血中濃度が６倍高くなり、活性のない人では19倍も高くなると言われています。この酵素活性の違いは各人が持つＡＤＨ１ＢとＡＬＤＨ２遺伝子パターンの違いによるものです。この遺伝子タイプの組み合わせによって皆さんのアルコールに対する体質は決まっており、お酒を飲む・飲まないにかかわらず、一生変わるものではありません。

３．アルコールに対する体質を決めるのは ＡＤＨ１ＢとＡＬＤＨ２の遺伝子タイプ

日本人のアルコールに対する体質はアルコール脱水素酵素ＡＤＨ１Ｂとセトアルデヒド脱水素酵素ＡＬＤＨ２の遺伝子タイプの組み合わせで大きく５つのパターンに分けることができます（表１）。アルコールで問題になるには毒性の強いアセトアルデヒドを速やかに解毒できる能力です。これがお酒に強いか・弱いか、また、アルコールによる疾病の発生リスクが高いか・低いかを左右します。

表１　遺伝子タイプ別の特徴と飲酒習慣で気をつけるべきこと

独立法人国立病院機構久里浜アルコール症センター監修

アルデヒド分解遺伝子	アルコール分解遺伝子	遺伝子タイプ	体質とコメント
ALDH2 ＊1/＊1（活性）	ADH1B ＊1/＊1（低活性）	A（3%）	**《アルコール依存症に最もなりやすいタイプ》** アルコールからアルデヒドへの分解が遅く、アルデヒドから酢酸への分解は速い。アルコールが体に長くとどまるため、酔いやすく、お酒好きになりやすいタイプ。 飲みすぎないように注意しましょう！悪酔いから事故やアルコールハラスメントを起こさないよう量をセーブしましょう！
	ADH1B ＊1/＊2（活性）	B（50%）	**《お酒に強いタイプ》** アルコールからアルデヒド、アルデヒドから酢酸への全ての分解が速いタイプ。しかし、強いからといって飲みすぎると不快な症状が起こります。健康のために、飲みすぎないよう注意しましょう！
	ADH1B ＊2/＊2（高活性）		
ALDH2 ＊1/＊2（低活性）	ADH1B ＊1/＊1	C（3%）	**《お酒に強いと勘違いしやすいタイプ》** アルコールからアルデヒド、アルデヒドから酢酸への全ての分解が遅いタイプ。アルコールが体に長くとどまるため、酔いやすく、お酒好きになりやすい。しかし適量を越えるとすぐに不快な症状が起こり、また二日酔いになりやすい。 食道がん等、飲酒関連疾患にかかるリスクが高いタイプです。お酒は控えめに！！
	ADH1B ＊1/＊2	D（40%）	**《顔がすぐに赤くなるタイプ》** アルコールからアルデヒドへの分解は速く、アルデヒドから酢酸への分解は遅い。少量の飲酒でアルデヒドがすぐに産生され、また長くとどまるため、顔が赤くなったり、吐き気などの不快な症状が起きやすい。また二日酔いにもなりやすい。 体が慣れると多少飲めるようになる人もいますが、健康問題が起こりやすいので控えめに！節度ある飲酒を心がけてください。
	ADH1B ＊2/＊2		
ALDH2 ＊2/＊2（不活性）	ADH1B ＊1/＊1	E（4%）	**《下戸タイプ》** アルデヒドが分解できないタイプ。ごく少量のアルコールで顔面紅潮、眠気、動悸、吐き気などの不快な症状が起きやすい。 お酒を勧められたときは、自分は全く飲めない体質であることを相手に告げましょう。
	ADH1B ＊1/＊2		
	ADH1B ＊2/＊2		

（　%）は日本人で見られる割合

① アルコール依存になりやすいタイプ（表１のＡタイプ）

アセトアルデヒドの分解速度の早いＡＬＤＨ２活性型の遺伝子タイプを持つ人は、日本人の約56%と言われています。基本的にお酒に強い体質の人ですが、このタイプの人も２通りの体質パターンがあります。一つは、アルコール脱水素酵素ＡＤＨ１Ｂが低活性型の遺伝子タイプの人たちで、アルコールの分解が遅く、血中アルコール濃度は高いままで酔った状態が長時間続きます。アセトアルデヒドの分解は早いので不快な反応は出にくく、飲んだ次の日も酒臭いタイプです。お酒が覚めにくいので、飲んだ翌日の車の運転等は気をつける必要があります。お酒を飲むと酔っ払った状態がいつまでも続きますから、アルコール依存に陥る危険があります。白人や黒人は殆どがこのタイプで、宗教や法律でお酒が禁じられている場合が多いのも頷けます。

② お酒が強いタイプ（表１のＢタイプ）

もう一つはＡＤＨ１Ｂの活性が高い遺伝子タイプの人たちで、アルコールの分解も早く、できたアセトアルデヒドもすぐに解毒されるので、お酒を飲んでもすぐに覚めてしまうタイプです。酒豪タイプで、いわゆる“ザル“と呼ばれる人たちです。

③ お酒が強いと勘違いしているタイプ（表１のＣタイプ）

アセトアルデヒドの分解速度の遅いＡＬＤＨ２低活性型の遺伝子タイプを持つ人は、日本人の約40％と言われています。このタイプの人には２通りの体質パターンがあります。

一つのタイプは、ＡＬＤＨ２低活性の遺伝子タイプとＡＤＨ１Ｂが低活性の遺伝子タイプを持つ人です。このタイプの人は、アルコールの分解速度が遅いのでアセトアルデヒドも少しずつしか産生されないため、アセトアルデヒドの分解能が低くてもフラッシング反応が出にくく、少しのお酒を飲んでもすぐに酔っ払った状態になります。このため、本来はお酒に強い体質ではないはずなのに自分はお酒が強いと勘違いして、酒好きになりやすいタイプです。ついのみすぎてしまうと二日酔いになりやすく、長時間アセトアルデヒドに暴露されるので咽頭がんや食道がんの発生リスクの高い人たちです。

④ 顔が赤くなるタイプ（表１のＤタイプ）

アセトアルデヒドの分解速度の遅いＡＬＤＨ２低活性型の遺伝子タイプを持つ人で、アルコール脱水素酵素ＡＤＨ１Ｂが活性型または高活性型の遺伝子タイプを持つ場合は、アルコールの分解が早く、お酒を飲むとアセトアルデヒドの濃度が急上昇します。アセトアルデヒドの分解が遅いので、お酒を飲むとすぐ顔が赤くなり（フラッシング反応）、吐き気や頭痛などの不快な症状を起こしやすい体質です。これでお酒を飲まないようにすればいいのですが、それでもお酒を飲み続けていると、人間の体はアセトアルデヒドの毒性に慣れが生じ、だんだんお酒が飲めるようになってきます。若い頃は顔が赤くなったが、最近そんなことはないので晩酌は欠かせない、とか、今でも顔は赤くなるが毎晩晩酌をしていると言った人は、常にアセトアルデヒドの毒性にさらされている危険があります。咽頭がんや食道がんの発生リスクの高い人たちです。

⑤ 下戸タイプ（表１のＥタイプ）

アセトアルデヒドを全く分解できないＡＬＤＨ２不活性型の遺伝子タイプを持つ人は、日本人の約4％と言われています（表２のＥタイプ）。この人たちは、少しでもお酒を飲むとすぐに不快な症状が現れるため、全くお酒が飲めない下戸タイプになります。下戸の人はお酒を飲めないので、アルコールによるにする疾病の心配はありません。青少年で一気飲みによる事故が時々起こりますが、多くはこのタイプの人にお酒を無理強いすることで起きる急性アルコール中毒です。自分のアルコールに対する体質を知らないと時に命の危険にさらされることすらあります。

4．アルコールと咽頭がんと食道がんの発生リスク

では、アルコール体質と発がんとはどのように関係しているのでしょうか。だいたいの目安ですが、日本酒換算で１日 1.5 合以上晩酌をする方（1 週間で 9 合以上は中等度以上の飲酒家とされています）では、ＡＤＨ１ＢやＡＤＬＨ２活性型の遺伝子タイプを持つ人に比べて低活性型・不活性型遺伝子タイプを持つ人の方が咽頭がんや食道がんの発生リスクが数倍も高くなると言われています（表２）。

アルコール自体も発がん性がありますが、問題はアルコールが分解してできるアセトアルデヒドです。じつは、お酒のなかにも既にアセトアルデヒドが含まれており、その濃度はお酒の度数が高いほど多いと言われています。さらに、アルコールは口内細菌によってもアセトアルデヒドに分解されるため、お酒の通り道である口腔や咽頭（のど）、食道はお酒を飲むだけで高濃度のアセトアルデヒドに晒されることになります。これに体内で吸収されたアルコールから来るアセトアルデヒドが加わることで、ＡＤＨ１ＢやＡＤＬＨ２の低活性型・不活性型の遺伝子タイプを持つ人の発がんリスクはより高くなるのです。

なかでも、ＡＤＨ１Ｂ低活性とＡＤＬＨ２不活性型の遺伝子タイプをもつタイプ（表１）は最もリスクが高い人たちです。この組み合わせのタイプは日本人の 2-3% 程度と少数ですが、お酒が強いと勘違いして大量飲酒を続けていると咽頭がんや食道がんになりやすく、さらに、このタイプでお酒に加えてたばこを吸う方であれば、がんのリスクは 300 倍以上にもなると言われています。

表2　アルコール多飲による咽頭・食道がん発生リスクの増大

アルコール多飲による咽頭・食道癌発生リスクの増大

飲酒中等量～大酒家の場合	口腔・中咽頭癌	下咽頭癌	食道癌（扁平上皮癌）
ALDH2低～不活性型vs 活性型	1.80 (0.83- 3.89)	10.08 (3.80-26.77)	4.75 (3.29- 6.83)～9.75(7.34-12.97)
ADH1B 低活性型 vs 活性型	4.24 (1.42-12.62)	7.21 (2.35-22.09)	2.18 (0.38- 12.2)～4.02(1.83-8.80)

アルコール常飲なし～軽度の場合は発癌リスクに差異はない。　Adjusted OR (95%CI)
飲酒量・軽度；日本酒 9合/週以下、中等量；9 ～18合/週、大酒家；18 合/週以上
ADH1B *1/*1：低活性型(ホモ欠損)，*1/*2 +*2/*2：活性型

Asakage T, et al. Carcinogenesis 28: 865-874, 2007
Yang SJ, et al. World Journal Gastroenterol. 16: 4210-4220, 2010.

5．咽頭・食道がんの早期発見・早期治療

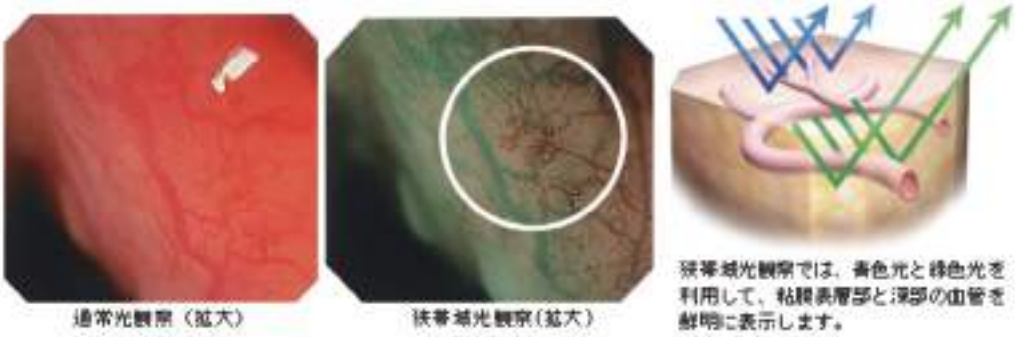
従来、咽頭（のど）は内視鏡観察が難しく、咽頭がんの早期発見はまず無理と言われていました。このため、声がかれるとか食べ物が飲み込みづらい、飲み込むとき痛みが出るなどの症状が出てから発見されることが多く、咽頭がんの予後は非常に悪いと言われています。また、手術するとしても声を失うとか気管支に穴を開けたままにしておかなければならなくなるなど大きな障害を残すことになります。同じく、食道がんも発見が遅れると命に関わる非常に危険ながんです。

しかし、近年、内視鏡の機械が進歩し、NBI（Narrow Band Imaging）と呼ばれる装置を使うと咽頭の表在がんや食道の早期がんが比較的容易に見つかるようになりました（図３）。さらに、咽頭の表在がんや食道早期がんは大手術を受けなくとも内視鏡で切除できる医療技術も開発されています。最近は、咽頭や食道がんの早

期発見を目標に、胃の内視鏡検査の際にはリスクの高い人を中心に“のど”や食道も丹念に観察するようになっています。特に、毎日晩酌をする人で顔が赤くなる体質の人やタバコを吸う人は要注意です。しかし、問診だけではリスクの高い人を拾い上げることはできません。咽頭・食道がんの発生リスクを正しく評価するには、皆さんのアルコールに対する体質を知ることが必要です。そして、ご自分のアルコール体質に見合った節度ある適度な飲酒習慣を心掛け（表３）、さらに、積極的にがん検診を受ければ、アルコールによるがんや生活習慣病の発生リスクを低減できると期待されます。特に、長年体質に合わないお酒の飲み方を続けてきた方は、定期的に内視鏡検査を受けることをお勧めします。

これまでの調査結果をみると、平均１日２合を超える飲酒者では、様々な健康障害を引き起こしやすくなります。就寝中でも肝臓は休みなく働いているので、毎日飲酒していることは、それだけ胃や肝臓に負担がかかっていることになります。週に２日はお酒を飲まない休肝日を設けることをお勧めします。

図3　NBI（Narrow Band Imaging：狭帯域光）内視鏡観察による咽頭・食道がんの早期発見



白丸で囲まれた茶色く見えるところが1mm程度の微小な食道がん

表3　各アルコール飲料の「節度ある適度な飲酒」の量

１日平均 純アルコール20 g以内！
（女性はこの量より少なく！）

	目安の量	アルコール度数	純アルコール量
ビール	中瓶1本（500 ml）	5 %	20 g
日本酒	1合（180 ml）	15 %	22 g
焼酎	0.5 合（90 ml）	35 %	25 g
ワイン	2杯（240 ml）	12 %	23 g
ウイスキー	ダブル（60 ml）	43 %	20 g

:飲酒と健康～ 健康な生活を送るために ～
武庫川女子大学バイオサイエンス研究所編より転載

６．当センター人間ドックのアルコールに対する体質検査（アルコール代謝酵素簡易遺伝子検査）について

アルコール体質検査とは、アルコール代謝関連酵素 ADH1B と ALDH2 の遺伝子タイプを、指先から血液を一滴採取して２つの酵素の遺伝子タイプを調べる検査です。一生に一度受ければ済むものです。当センターでは人間ドックオプション検査として平成 25 年度から実施予定です。

リレーフォーライフ・ジャパン2012 in みやぎに参加して

残暑の残る９月15日、16日、今年で４回目となるリレーフォーライフinみやぎが富谷町で開催された。当日はコラボレーションイベントとして富谷町乳がん検診が実施され、事前の個別告知が無かったにもかかわらず、実に175名の方が受診に訪れ、富谷町民の方々の検診に対する意識の高さを示すとともに、リレーフォーライフの誘致など富谷町のがん征圧への熱心な取組の成果を感じさせた。

さて、今年で２回目の参加となる私は、昨年初めてこのイベントの話を聞いた時、正直参加に乗り気ではなく「なぜ歩くのか？意味があるのだろうか？」との疑問を先輩職員にぶつけた。いつもは冗談ばかり言っているその先輩職員は、意外にも真面目な顔で「がんと闘う人やがんを克服した人たちを応援するイベントなんだけど、参加するまでは自分も乗り気ではなかった。でも実際にトラックを歩き始めると、ルミナリエに書かれた色々なメッセージに心を揺さぶれて、やっぱりがんは撲滅してやろうという気持ちになって、ちょっと涙目になりながら夢中で歩いていたよ」と答えてくれた。そして今年、夏の余韻の残る太陽が沈み、徐々に周囲が暗くなってルミナリエのメッセージが明るく浮かび上がってくると、ぼんやりと眺めていたメッセージが段々と頭に染み込んで来た。

「天国のお母さん、忘れないよ」「がんに負けない！」「がんを見つけてくれてありがとう」

ふいに先輩職員の言葉を思い出した。がん検診を職業とする人間としてやや仕事にも慣れ、それが日常であるあまり何のために、誰のために働いているのかを忘れてしまいがちになりつつあった私は「あぁ、こういう人たちのために自分の仕事があるんだな」と柄にもなく熱い気持ちになっていた。

今年からカラフルなＬＥＤの光となってＨＯＰＥの文字に並べられたルミナリエの灯は、ろうそくの炎が醸し出す厳かな雰囲気とはまた一味違い、がんと闘っている人たち、がんを克服した人たち、周囲で支える人たちそれぞれの色のＨＯＰＥとなって明るく勇気づけているように見えた。最後に、運営のために奔走した実行委員や富谷町職員の方々の尽力に感謝するとともに、リレーフォーライフinみやぎ2013の開催を願って止まない。

（参加者　伊藤尚人）

がん征圧全国大会

平成24年度のがん征圧全国大会が9月14日、約1600名が参加し、四国の高松市で開催されました。

今年は「いのち育む瀬戸内から」をテーマに、がんで亡くなる人たちに思いをはせ、がん征圧への道を着実に進めることを誓いました。

また、大会の中で日本対がん協会賞の表彰があり、「個人の部」で元当協会検診センター所長の菅原伸之先生が受賞されました。

先生はがん検診の一次検診機関による精検・診断・治療への誘導の一貫した「宮城方式」をより効果的にするため、当協会に電算システムを導入し、受診者の受診歴や結果などのデータを一括管理し、過去の結果と比較読影するなど精度管理を重視。また、視触診が主流だった当時の乳がん検診において、50歳以上を対象にマンモグラフィ併用検診を企画・実施され、日本のマンモグラフィ検診の礎を築くなど多くの功績があります。

がん講演会

９月21日（金）に仙台市シルバーセンターを会場に「がん講演会」と「がん予防パネル展」を開催しました。講演会には約230名の来場者があり、東北大学東北メディカル・メガバンク機構予防医学・疫学部門教授の寳澤篤先生から、「がん予防と健康寿命」と題して「がん」の正体やがんにかかりにくくする生活習慣等についてわかりやすく説明をしていただきました。また、単なる長生きではなく健康に長生きするために、①病気にならない（一次予防）②病気になったとしても早く見つける（がん検診・健康診査）③健診結果があやしいときにはすぐ改善、受診・・・せっかく見つけても放置したのでは意味がないなどのアドバイスをいただきました。

同日は、ホール前ロビーにて「がん予防パネル展」も開催し、多くの人が顕微鏡でがん細胞を覗いたり、乳房の視触診模型を使った自己検診を体験していました。

ねんりんピック

今回で25回目となる全国健康福祉祭「ねんりんピック」が10月13日（土）から16日（火）に「伊達の地に　実れ！ねんりんいきいきと」の大会テーマのもと宮城県内各地において行われました。この祭典には、60歳以上の方々で行うスポーツや文化交流大会、子供から高齢の方々までみんなが参加出来る美術、音楽、地域文化伝承などの色々な交流イベントがあり、宮城県対がん協会は夢メッセみやぎで開催された「みやぎ元気フェスティバル」にブース参加をさせていただきました。がん予防のパネル展示や顕微鏡でがん細胞を覗いたり、乳がん触診模型の体験等がんに関する正しい知識の普及に努めました。

宮城県の地域がん登録が表彰

このたび、本協会が宮城県より委託を受け実施している地域がん登録事業がWHO（世界保健機関）の関連機関であるIACR（国際がん登録協議会）より表彰されました。

表彰理由はIACRが世界各地域のがん罹患統計をまとめて定期的に刊行している「五大陸のがん罹患」に昭和41年刊行の第１巻（昭和34～35年集計結果掲載）からまもなく刊行予定の第10巻（平成15～19年集計結果掲載）まで継続してデータを提供していることの功績によるものです。今回表彰を受けたのは世界12カ国の17登録、日本からは宮城県のみとなっています。

写真はIACRより贈られた賞状とトロフィーです。

平成25年度　がん検診事業説明会並びにがん予防研修会開催

平成25年度がん検診事業説明会が、10月17日（水）フォレスト仙台において、県内市町村の検診事業を担当する主管課から保健師並びに担当者の方々、約60名の参加をいただき開催しました。

はじめに、久道会長から当協会が今年４月１日に公益財団法人として新たに発足した報告と国の第２次がん対策推進基本計画に関する解説を含めた挨拶を行い、引き続き、加藤事務局長から平成25年度のがん検診事業計画について、これまでの検診方式を継承し一次検診から精密検査及び事後管理までの一貫した検診体系と精度管理に重点を置いたがん検診を実施することを基本として、検診計画を策定していることを説明しました。

続いて、田勢細胞診センター所長から「子宮頸がんに対する細胞診とHPV DNA検査の併用検診について」日本における子宮頸がんの状況と問題点から説明を行いました。

午後からのがん予防研修会では、最初に宮城県からのお知らせとして、疾病・感染症対策室の大江主幹から、平成25年度がん検診実施計画の策定に向けて、受診率向上に向けた利用可能な県補助金（市町村振興総合補助金）について紹介がありました。

その後、山形県庄内保健所の菅原様から、地域と職域でできるがん検診対策として、庄内地域における「がん検診受診率向上」の取組みについて紹介がありました。

最後に、当協会の加藤消化器担当科長から「ピロリ菌感染とABCリスク検査について」と「バリウムの禁忌に対するスクリーニングファイバーの対応」について講演がありました。

2012 ピンクリボン・スマイルウォーク仙台

乳がん検診の大切さをPR！

乳がんの早期発見を呼びかけるピンクリボン・スマイルウォークが、10月27日（土）仙台市の勾当台公園いこいの広場を会場に約2,500人が参加して開催されました。

仙台での開催は今年で７回目となり、がんサバイバーの方をはじめ家族連れや若い女性のグループ、そして多くの男性も参加しました。

出発式では、地元プロスポーツ３者のチアリーダーとガールズプロレスリングの皆さんのパフォーマンスの後、奥山仙台市長から「乳がん検診を仙台から全国に広めるように笑顔で歩きましょう！」と挨拶があり、５キロと10キロコースに分かれてウォークをスタートしました。

また、会場ではサブイベントとして、歌手で南三陸町出身の“まきのめぐみ“さんのミニコンサートや協賛企業のブースでは乳模型による視触診体験やパネル展示の他、仙台名物の笹かまぼこの販売などがあり、大変賑わいました。

ウォーク終了後、乳がんを克服したタレントの山田邦子さんやミスユニバース日本代表の原綾子さん（仙台市出身）と東北大学医学部長の大内憲明教授による乳がん検診の大切さを伝えるトークショーが行なわれ、参加者は最後まで熱心に聞き入っていました。

街頭活動委員会

一番町がん検診啓発行進を行いました

一番町がん検診啓発行進を９月２日（日）午後２時から約１時間、仙台市役所前広場を出発し、一番町アーケードを南下し青葉通りまで実施いたしました。今年も「がん征圧月間」の一環として、宮城県・仙台市をはじめ、宮城県地域婦人団体連絡協議会、みやぎよろこびの会会員、当協会職員、また今回初めて宮城県の担当者より、がん啓発及びがん検診の受診率向上に向けた協定を締結している企業にも声がけしていただき、七十七銀行、仙台銀行、アフラック、東京海上の方々にも参加をいただきました。当日は30度を越す猛暑の中、多くの県民の方々に対し、がん検診の重要性をアピールしながら、一人でも多くの人にがん検診を受診していだけるよう啓発行進いたしました。

今年も各市町村の健康まつりやイベントに参加いたしました

- **10月20日（土）、21日（日）第７回大崎市健康と福祉のつどい**
  場所：大崎市古川保健福祉プラザ
- **11月３日（土）「がん予防展in名取」**
  場所：イオンモール名取
- **11月４日（日）気仙沼市「健康フェスティバル」**
  場所：気仙沼市民健康管理センター「すこやか」
- **11月10日（土）大和町「健康たいわ21推進大会」**
  場所：まほろばホール
- **11月10日（土）岩沼市「いわぬま“健幸”まつり2012」**
  場所：ハナトピア岩沼
- **11月11日（日）色麻町「保健福祉センターまつり」**
  場所：色麻町保健福祉センター
- **11月18日（日）第１回石巻市民食育健康フェスティバル**
  場所：石巻専修大学体育館
- **12月2日（日）丸森町「健康と福祉のつどい」**
  場所：丸森中学校体育館

みやぎよろこびの会活動報告

第45回みやぎよろこびの会記念大会開催

今年は45回という記念すべき節目の大会となり、９月25（火）～26日（水）、秋保温泉「岩沼屋」を会場として開催されました。

当日は、宮城県、当協会久道会長をはじめ、山形県支部「山形まめの会」、福島県支部「しゃくなげ会」と大勢の会員の出席により盛大な大会となりました。大会では、会長表彰６名と術後10年を経過した12名の方々に賞状や記念品が贈呈されました。第二部の術後者研修会では、当協会の保健師佐藤真由美による「知って得するがん予防の話」と題しての講演が行われました。

また、第三部の情報交換会では、各支部の芸達者が得意の出し物を披露して、会場は大いに盛り上がりました。

各支部の活動

金成支部

７月30日（月）栗原市津久毛公民館におきまして金成支部主催の「茶話会」が実施され、「津久毛ふれあい広場」の会員さんも多数参加されました。当日は宮城県がん総合支援センターの田村相談員が「賢い先生との付き合い方～ダイヤモンドのように～」と題して講話をいたしました。

丸森支部

10月12日（金）丸森支部にて恒例の「いも煮会」が開催されました。今回は、会員同士の交流を図り、体験を語り合う機会を設けることで、地域で生活する活力のひとつに繋がるようにとの趣旨で、丸森町不動尊公園キャンプ場にて開催されました。当日は天気にも恵まれ、会員同士大いに交流が図れたことも重なってこころもおなかも満腹になりました。

栗原市連絡協議会

11月６日（火）栗原市連絡協議会主催の会員親睦ゲートボール大会が開催されました。

当日はあいにく雨だったため、姫松屋内ゲートボール場での開催となりました。大会は市民と交流の場を持つことによって、相互の体験や生活習慣の工夫と改善・定期的な検診の充実強化を図り、より快適な生活を営むよう努力することを目指すというもので、今回は13チーム約80名が参加しました。外は肌寒い気候でしたが、屋内ゲートボール場は熱き戦いが繰り広げられました。

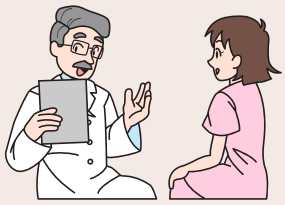
ピロリ菌検査

トピックス

当検診センターにて毎週水曜日午後２時～完全予約制で行っています。

…「ピロリ菌は、胃の中に生息している細菌で、ピロリ菌に感染すると胃の粘膜を傷つけて慢性胃炎となります。その中から、胃・十二指腸潰瘍・胃がんが発生すると言われています。」

検査の流れ



①ピロリ菌感染検査…袋に息を吐く簡単な検査です。

②結果説明

③除菌治療…ピロリ菌陽性の場合薬を飲んで治療します。

④除菌後判定…服用終了して１～２カ月後に、ピロリ菌が陰性になったか確認します。

※このような方におすすめします
・ピロリ菌がいるか調べて、陽性の時は治療したい。
・胃潰瘍・十二指腸潰瘍をくりかえしている。
・以前ピロリ菌がいると言われたことがある。
・ピロリ菌の除菌をしたが、陰性になったか確認していない。　…など

無料！「がんの悩みや不安を気軽に相談してください」“がん相談”のお知らせ!!

「がん総合相談」のご紹介

宮城県対がん協会のがん総合相談

宮城県対がん協会は、**医師による無料**の「がん総合相談」を行なっております。

ご家族の治療法や生活、セカンドオピニオンの受け方や患者の支え方など、ご本人やご家族のさまざまな悩み、不安、疑問などの相談に応じます。

完全予約制ですので、電話でお申込みいただき相談日を調整させていただきます。相談は面談方式で、時間はお一人様３０分までとさせていただきます。

相談は無料ですので お気軽にご予約 ください。

宮城県仙台市青葉区上杉５－７－３０
お問い合わせ・予約申込　宮城県対がん協会
022-263-1525（平日10：00～17：00）
面談日時を調整させていただきます。

「がんなんでも相談」のご紹介

宮城県がん総合支援センター

宮城県対がん協会は、**専任の看護師による無料相談**「宮城県がん総合支援センター」を設置して、面談、電話、ＦＡＸ、Ｅメールで対応しております。

○がんと診断された方の不安や問題に対して情報をさがすお手伝いをします。

○患者さんやご家族の方、医療関係者の方々、どなたでもご利用できます。

どんなお悩みでも かまいません。 一度お電話ください。

【受付】
電話022-263-1560（平日9：00～16：00）
FAX 022-263-1548
Eメール zaitaku-gan@miyagi-taigan.or.jp

あなたの大切な方へのプレゼントに！ おトクな がん検診受診券 はいかがですか？

公益財団法人 宮城県対がん協会

がんは身近な病気なのに、なかなか自分から検診に行くことが少ないのが現状です。定期的に「がん検診」を受けることで、「がんの早期発見」が可能になるのです。
大切な人をがんから守るために、料金がお得な「がん検診受診券」をプレゼントしませんか?

受診券を使ってコースで受けると約50%～20%お得です!

ご寄付をいただいた個人・法人

2012年6月1日～2012年11月30日受付分
<順不同・敬称略>

■篤志寄付金
小山忠子、伊藤昭男・怜子、アフラック宮城県アソシエイツ会、仙台コカコーラ、大友りつ、株式会社阿部蒲鉾店、塩釜市藤倉親交会、コセキ株式会社、センター募金箱、職員有志

■特定維持会員
大友クリーニング店、七十七リース株式会社、株式会社仙台銀行、杜の都信用金庫

■賛助会員（議会）
村田町議会事務局、名取市議会議員会、多賀城市議会、丸森町議会事務局、亘理町議会議員会、涌谷町議会事務局、山元町議会事務局、七ケ浜町議会事務局、大衡村議会事務局、登米市議員会、大郷町議会事務局、美里町議会事務局、石巻市議会議員会、栗原市議会事務局、富谷町議会事務局、色麻町議会事務局、女川町議会事務局、柴田町議会事務局、松島町議会事務局、塩竈市議会事務局、蔵王町議会事務局、利府町議会事務局、南三陸町議会事務局、大河原町議会議員互助会

■賛助会員（岩沼市議会）
高橋孝内、大友克寿、布田恵美、酒井信幸、櫻井隆、佐藤一郎、森繁男、国井宗和、長田忠広、宍戸幸次、飯塚悦男、佐藤淳一、沼田健一

■賛助会員（仙台市議会）
大泉鉄之助、小山勇朗、鈴木繁雄、石川建治

■賛助会員（法人）
東北労働金庫、株式会社ウェルネス伯養軒ケータリング営業部仙台支店、出光リテール販売株式会社東北カンパニー、有限会社ふじや千舟、東興産機株式会社、株式会社佐々直、上西産業株式会社、三宝物産株式会社、株式会社文化堂、涌谷観光株式会社、株式会社銀座薬局、株式会社三株園茶舗、志津川オリエント工業株式会社、仙南信用金庫、株式会社仙台カントリークラブ、株式会社シーエス・オペレーションズ、常盤洋紙株式会社、株式会社西仙台ゴルフ場、野村建設株式会社、古川商工会議所、社団法人宮城県宅地建物取引業協会、宮城石灰工業株式会社、株式会社ヤナセ東北、コヤマリネン株式会社仙台事業所、宮城県自動車事業協同組合、クレア工業株式会社、塩野義製薬株式会社仙台分室、株式会社ダイコクヤ、宮交自動車整備株式会社、宮城県中小企業団体中央会、松田産業株式会社環境事業部仙台営業所、第一貨物株式会社仙台東支店、東邦アセチレン株式会社仙台事業所、有限会社アツミ自動車、熱海建設株式会社、株式会社一ノ蔵、仙台ガス保安工事株式会社、株式会社石井組、株式会社ビー・プロ、株式会社羽田電機工業所、学校法人朴沢学園、株式会社ヨコハマタイヤサービス東北、東北総合信用保証株式会社、株式会社小田島、勝山企業株式会社、株式会社渡辺採種場、ダスキンタカハシ、アフラック仙台総合支社、アルプス電気株式会社古川工場、有限会社上杉会計事務所、株式会社小山商会、塩釜ガス株式会社、東北放送株式会社、宮城商事株式会社、仙台コカ･コーラボトリング株式会社、株式会社鐘崎、株式会社河北仙販、弘進ゴム株式会社、気仙沼商工会議所、仙台弁護士会、武田公認会計士事務所、カガワ印刷株式会社、あすか製薬株式会社東北支店、株式会社三陸河北新報社、医療法人みやぎクリニック仙台画像検診クリニック、株式会社佐浦、株式会社イメージパーク、塩釜商工会議所、株式会社東北プリント、株式会社マコモ、株式会社白松がモナカ本舗、石巻商工会議所、宮城中央ヤクルト販売株式会社、ワタヒョウ株式会社、東日本メディカルシステム株式会社、東北特殊工業株式会社、東北福祉大学、株式会社宮城テレビ放送、株式会社藤崎、仙台商工会議所、仙建工業株式会社、株式会社メガネの相沢、仙台和光純薬株式会社、カメイ株式会社、笹氣出版印刷株式会社、仙台空港ビル株式会社、東北インフォメーション・システムズ株式会社、常盤化工株式会社、東日本興業株式会社、七十七コンピューターサービス株式会社、宮城十條林産株式会社、株式会社ショクテン、株式会社仙台放送、株式会社三陸新報社、ツバキ薬局、カイリク株式会社、奥山工業株式会社、中島プラント株式会社、東邦薬品株式会社宮城営業所、学校法人東北工業大学

■賛助会員（医師会）
遠田郡医師会：野崎公男、佐々木和義、美里町立南郷病院、熱海智章
塩釜医師会：赤石病院、今井信行、岩井修一、氏家紘一、遠藤義晃、小野寺仁至、及川潤一、大井知教、金俊夫、齋恒夫、坂総合病院、塩釜医師会消化器部会、塩竈市立病院、鈴木健史、関晴夫、関口澄雄、関口淳一、仙塩総合病院、高橋晋、高橋輝兆、冨永泰之、鳥越紘二、中山大典、沼崎典明、林義峰、平澤善久、平澤頼久、藤野茂、藤谷浩、本間正明、松下真史、松島海岸診療所、松島病院、緑ヶ丘病院、宮城利府掖済会病院、宮田幸比古、無量井泰、山田憲一、渡辺広己、井筒憲司、黒澤久三、薗部太郎、鈴木ヒトミ、遠藤英敬、小片邦穂、藤原竹彦、真栄平昇、横山義正、高橋裕一、角田和彦、小鷹日出夫、鈴木隆志、佐々木泰夫、加瀬クリニック、涌坂俊明、杉山健二郎、池野暢子、鈴木室生
加美郡医師会：中川祐輔、加美郡保健医療福祉行政事務組合、伊藤明一、鈴木啓之
角田市医師会：高山敦、小川俊哉、三浦徳之、安藤祐介、横山正和、医療法人本多友愛会仙南病院、ウィメンズクリニック金上
岩沼市医師会：中川榮子、青木恭規、廣木貞一、緑の里クリニック、有田大作、町田幸雄、板橋隆三、鈴木雅洲
栗原市医師会：佐藤自伸、佐々木浩、佐藤政子、菊田公一、栗原市立栗駒病院、栗原市立若柳病院、三浦正明、佐々木裕之、栗原市立栗原中央病院、佐藤尚
黒川郡医師会：大平千秋、公立黒川病院、林哲明、清野正英
柴田郡医師会：みやぎ県南中核病院、河内三郎、大沼利行、太田繁興、佐藤俊夫、西條忍、みやぎ県南医療生活協同組合、佐藤和宏
石巻市医師会：石巻市立牡鹿病院、石巻赤十字病院、阿部洋一、相沢正俊、川村尚道、佐藤信男、高橋邦明、舘田治、二宮健次、箕田昌道、久門俊勝、川原田博章、舛眞一、石塚圭一、古山元之、内海正晴、荒井啓史、矢吹法孝、樹神学、小林龍夫、高屋りさ、山本博尚、千葉淑朗、伊藤健一、坂井武昭、渡邉祐、佐藤清壽、矢崎重彦、千葉淳、佐藤純、中嶋正彦、田中典和
仙台市医師会：山本敏行、堀克孝、名倉宏、佐藤惠郎、三品直子、佐藤英幸、武山恒男、武田鐵太郎、本田毅彦、妹尾重晴、樋渡信夫、大滝忠、遠藤文雄、榛澤清昭、松原修二、阿部信彦、佐藤裕也、井上廉、岡村けい子、庄司眞、佐藤弘房、高濱光子、及川浩助、下田茂、西川昌宏、長島道夫、豊田隆謙、山家泰、宮田隆光、桑野昭彦、仙台オープン病院、小林守治、高柳義伸、大方俊樹、古賀詔子、髙橋克、佐藤茂、森元富造、曽根眞一郎、宮崎豊、安田恒人、大山明、岩田宏夫、佐藤玄徳、今村幹雄、千葉守、長池文康、舟田彰、齋藤親弘、貝山仁、玉置拓夫、師研也、伊藤義郎、北川正伸、早坂得良、伊藤賢司、大宮光昭、石田一彦、長谷川純男、星宏紀、山家喬、山口尚、今井克忠、医療法人社団相田内科医院、渡邊睦生、本島正、京極芳夫、結城隆俊、森俊彦、菅原比呂志、湯村和博、塩澤正博、櫻井潔、桃野耕太郎、鬼怒川雄久、角安雄、町田晶子、池内廣重、遠藤潔、猪股紘行、藤田直孝、北村龍男、五十嵐彰、石田望、大澤寛寿、千田典男、五十嵐稔、小野寺英朗、佐々木晴邦、熊谷均、井上重夫、白根昭男、今井克彦、矢内謙、本多博、早川哲夫、塚本二郎、針生常郎、作山昌則、吉田仁秋、青沼清一、丹野恭夫、井上美知子、和田裕子、医療法人岩切病院、嘉数研二、仙台中央病院、仙台産業医科診療所、福田一彦、新井宣博、工藤洋平、日向野修一、佐藤信二、渡邉進、小田泰子、松田恵三郎、村口喜代、長町病院、舩山道隆、舩山多佳子、小松田辰郎、安田浩康、柿坂伸子、津田克二、酉抜和喜夫、仙台赤十字病院、五十嵐裕、柴原義博、鬼怒川博久、仙台東脳神経外科病院、浜田俊政、宮﨑敦史、東北厚生年金病院、古川加奈子、虎岩紘子、小林正資、東北公済病院、加納一毅、門間弘道、今井豪、佐藤亙、長谷川桂子、三好進、熊谷榮雄、太田憲道、広瀬病院

大崎市医師会：小野寺敦、大久保孝一、高橋伸彦、三浦裕一、(財) 宮城厚生協会古川民主病院、伊東市男、中川公夫、佐藤和朗、森紘子、近江徹廣、大崎市民病院岩出山分院、大崎市民病院鹿島台分院、岩渕仁寿、千葉徹、医療法人永仁会病院、古川星陵病院、渡辺麟也、大崎市民病院、沼田功、佐藤寛、木幡光彰、有馬和夫、星秀二、髙橋郁朗、鎌田修二、冨樫孝、渡辺孝也
登米医師会：田中悟、湊敬一、登米市立豊里病院、登米市立よねやま診療所、八嶋中央診療所、登米市立登米市民病院、佐藤厚史、三浦守正、大坂國通
桃生郡医師会：伊東正一郎、佐藤和生、真壁道夫、加藤玲子、舘田要、仙石病院、櫻井忠実
白石市医師会：佐藤秀一、医療法人社団蔵王会、浅野俊弘、梅津佳英、三浦義邦、水野圭司、小松和久、公立刈田綜合病院
名取市医師会：丹野　尚昭、桑島　一郎、名取中央クリニック、曽我内科こどもクリニック、佐藤滋、丹野兼夫、野口哲也、小林芳江、金澤義彦、佐藤滋彰、佐々木昌子、守昭夫
亘理郡医師会：三上雅嗣、佐藤博俊、熊谷明、山形成徳、菊池智

■賛助会員（みやぎよろこびの会）

佐々木榮之丞、瀬戸ちよみ、菅間和子、浅井壽子、引地君子、後藤ふじえ、石川司之、阿部強、板垣髙男、石川りよ、宍戸玲子、高橋久司、佐々木春子、髙橋孝男、加藤なかよ、浅田仁一、岩渕孝志、小野寺久幸、西條功、伊藤寛子、千石よし子、狩野せきよ、千葉か津子、菅原七郎、佐々木新治郎、小松清志、我妻百合子、小野昭子、佐々木淑子、大塚吉雄、伊藤達雄

■賛助会員（宮婦連）

白石市地域婦人団体連絡協議会：山田チヨ子、阿部初子、朝熊きくえ、大森りつ、長崎久美子、田口洋子、榊原きり、栗原幸江、吉川淑子、阿部ゆり子、佐藤洋子、高子せつ子、佐久間和子、石川照代、佐藤光子、佐藤和子
宮崎婦人会：熊澤たか子、米澤幸子、今野ちよみ
古川地婦連：大友富子、鈴木ゆう子、菅原末子、熊谷弘江、佐々木登貴子、岡本道子、永塚正子、佐々木國子、西村信代、晴山たえ子、阿部みえ子、門脇文孔、木村一枝、木村洋子、高橋輝美、佐々木之子、門脇宗子、鹿野孝子、平山かつみ、紺野京子、佐々木重子、我孫子妙子、高橋ますゑ、三浦博子
若柳婦人会：上田泰子、今野とし子、菅原てるよ、木川田悦子、中島とめ子、島田登喜子、佐藤律子、長澤満喜子、阿部てつ子、石川隆子、菅原茂子、高橋八重子、菅原聡子、菅原留子、岩渕美代子、二階静子、高橋まし子、千田起久子、小野寺温子、高橋幸子、武田てる子、千葉智恵子、鈴木郁子
多賀城市婦人会連合会：渡辺とめ、遠藤かつ子、桜井やえ子、酒井和子、赤井つや子、松田允子、平山千秋、渡辺ゑな子、星繁子、庄子よし江、平山照司、鈴木絹子、白濱宣子、稲葉愛子、田母神充代、堀米喜代子、浦山さつ子、千葉三津子、大友良子、佐藤聰子、伊藤マサ子、引地あき子、小畑清子、平山えなよ、桜井昌子、鈴木誠子、小野くに子、門田昭子、熊谷紀子、鈴木臣子、菊地キミ、加藤たき子、後藤みよ子、相沢良子、武中悠子、江釣子真理子
丸森婦人会：小野つや子
鶯沢婦人会：小野寺美重、鈴木民子、髙橋ちよ子、髙橋龍子、千葉たつ子
小斉婦人会：天野八重子
大塩婦人会：眞籠聖子、須田栄子、高橋沙代、桜井あや子、渥美静子、野村たま子、髙橋治子、片倉深谷子、岩渕彡恵子
大郷町大谷婦人会：高橋一子、宮本なを子
大張婦人会：大槻静江
大和町吉田婦人会：堀籠さと子、早坂真知子、堀籠美江子
角田市地域婦人会：鎌田三千子、森愛子、遠藤美代子、伊藤紀代子、菅原よし子、太田美也子、中畑繁子、玉手富美子、加川昭子、保志都、仙石茂子、保志とみ子、菅野せつ子
岩出山婦人会：高橋瞭子、飯田延子、橋本美恵子、佐藤妙子、菅原悦子、濱田悦子、五十嵐ゆり子、佐藤陽子、斉藤由起子、佐藤京子
鹿島台婦人会：佐藤孝、小堤キエ子、久道カヨ子、金澤とよの、栗田正子
女川町婦人会：横内静子、飯塚律子、安住裕子、阿部とまえ、阿部その子、須田悦子、近藤くに子、岸サワ子、平塚とみ子、阿部けい子、木村あさえ、小山栄子、高橋京子、伊藤文子、木村孝子、遠藤りえ子、遠藤尚子
松山婦人会：佐々木あい子、松坂せつ子、大友紀、川江礼子、小野政子、小関裕子、細川みどり、阿部とし子、佐々木政江、中澤幸子
色麻町婦人会：佐々木りえ子、菅原知恵子、佐々木やす子
大和町鶴巣婦人会：藤倉多香、小野啓子、馬場郁子
鳥矢崎地区婦人会：千田かつみ、千葉つる子、大場知子
花山婦人会：三浦妙子、千葉ちゑみ、佐藤敏子、及川喜留子、千葉妙子、千葉初枝
岩沼市婦人団体連絡協議会：本間英子、櫻井まさよ、吉田八重子、渡辺成子、髙橋たづよ、大村純子、小関寛子、岩間かつ江、吉田弘子、相原好子、菊地かつ子、酒井美枝子、残間洋子、小貫英子、富沢令子
利府町婦人会：伊藤きよみ、高橋よし子、峯岸悦子、林せつ子、貝山昭子、荒井美代子、小畑照子、品部陵子、高橋良子、遊佐和枝、鈴木史子、渡辺みえ子、伊藤恵子、八戸政子、西澤久子
金成婦人会：千田京子、鈴木常恵、髙橋あき子、渡辺和子、菅原かつゑ、石川セイ子、石川昌子、小岩久子、菅原ケイ子、佐藤繁子
賀美石婦人会：本間善子、三浦満、千葉千恵
稲井婦人会：三浦トキエ、後藤フヂ子、鈴木宣子
柴田郡婦人会連合：佐藤トシ、竹野幸子、佐藤房子、水戸和子、遠藤勝江、八巻まし子、高橋敏子、髙橋智恵子
泉町婦人会：平井美穂、渡辺より子、三宅葉子、斎藤たまえ、庄子信子
大郷町大松沢婦人会：木村静子、高橋みや子
渡波婦人会：畑山ふさ子、内海あやめ、須田勝子、大島ます子、清水川千喜子、平塚千恵子、岸波澄子、雁部きよ子
飯野川婦人会：今泉千枝子、高橋トシ、小出康子、武山和子、亀山捷子、高橋公恵、渥美てる子、今泉京子、立花良子、武山順子
七ヶ浜町婦人会：鈴木弘子、鈴木洋子、稲妻真知子、伊丹はるの、佐藤あき子
栗駒婦人会：菅原シゲル、菅原みね子、菅原ヤチヨ、菅原勝子、菅原たち子、菅原久美子、菊池寿美子、芳賀ゆきえ
名取市婦人会連合：斎藤栄子、橋本公子、渡辺勝子、三浦よね子、佐藤久子、本郷セイ子、太田恵美子、江口清子、渡辺洋子、齋藤重子、高橋志津枝、大久あき子、高橋ケサエ、渡辺八重子、佐藤美恵子、大友勝子、中沢直子、大友日出子
遠田郡婦連：瀧川澄江、大村涼子、寺尾登茂代、御守克子、中村ゆり子、相沢孝子
築館婦人会：佐々木正子、佐藤昌子、菅原英子、高橋則子、三塚紀代子、藤田経子、白鳥起代、後藤よつ子、長谷川美子、鈴木由紀子
志波姫婦人会：尾形郁子、中川悦子、高橋かよ子、高橋あき子、佐藤光子、相馬桂子、高橋俊子、鈴木まさ子、三浦和代、三浦末枝
栗駒姫松地区婦人会：菊池清子、氏家ふみ子、佐藤政子
大和町宮床婦人会：浅野よし江、藤田たか子、浅田レイ子
舘矢間婦人会：佐藤智子、宍戸照子、塚原るり子、水沼冨久子、横山ちまよ、佐藤貞子、佐藤伸子、高橋信子
佐沼婦人会：佐々木満子、佐々恵子、佐藤ヒサ子、佐藤恵子、男澤隆子、高橋あい子、長谷哲子、浅野和子、遊佐富士子、高橋絹子、阿部喜江子、鈴木タキ子、岩崎喜代枝、高田貞子、大場きみ子、千葉すえ子

大衡村婦人会：遠藤淑子、遠藤つや子、堀込幸子
尾松地区婦人会：阿部久子、大関喜稔子
松島町婦人会：後藤澄子、及川佳子、櫻井寿美子、千葉泰子、飯川ツル、横田きえ子、内海富子、内海美子、高橋きぬ子、村上和久子、高城尚子、鈴木紘子、櫻井貞子
中田婦人会：三浦しん、柴田慧、吉田節子、五嶋敬子、佐藤千賀子、石川クニ子、堀内悦代、佐々木カジ子、畑山信子、佐々木やゑ子、黒田容子、佐藤清子、三浦節子、三浦テツ子、三浦よし子
米山婦人会：小松れい子、佐々木邦子、只野あい子、渥美昭子、三浦きさ子、佐藤ヒサ子、髙橋ひさよ、菅原靖子、橋本栄子、加藤京子、水野トヨ子、鹿野村子
一迫婦人会：大橋たつ子、氏家あい子、菅原きよみ、熊谷初美、三浦一子
東松島市矢本婦人会：三浦絢子、阿部京子、菅原湛子、相澤数子、青木恵子、奥田りえ子、大江すみ子、戸田里、三浦亨子、菅原啓子、佐藤豊子、津田美枝子、佐藤多喜子、豊島敬子、五野井文子、菊地翼子、西潟寿美、浅野美枝子、田中敬子、木村久美子、木村礼子、後藤伊都子
豊里町婦人会：八木しみ子、大友秀子、佐々木みつ子、石川てる子、遠藤しみ子
亘理町逢隈婦人会：八巻富士子、南條繁子、渡辺禮子、加藤久美子、三品せつ、佐藤祐子、猪又和子、菱沼和子、三品まき子、横山とみ子、齋よね子、渡辺芳、三春美紀、伊藤サチ子
亘理町吉田西部婦人会：大槻かづ子、小野節子、大河原正子、松山芳子、安藤和子、大河原みつ子、玉田しげ子、安藤美重子
亘理町吉田婦人会：本間利子、齋藤かつよ、宍戸浩子、岩佐美津子、岩城和子、鈴木和子、岩佐直子、千葉きよ子、丸子常代、丸子加代子、齋藤律子、佐々木ミヨ、丸子みね子、齋藤桂子、丸子信子、小野美佐子、門馬久美子、鈴木好子、丸子きみ子、大堀トモ子、浅川純子、木田好子、横山宣子、森美奈子、丸子明美、小野典子、小野礼子、葉坂嶺子、丸子恵美子、森紀子、篠正子、川崎カツ子
亘理町荒浜婦人会：濱野かじ子、橋本かつ子、阿部ミヤ子、宍戸都賀子、橋本貞子、齋藤タミ、佐藤冨美子、武者信子、宍戸ひろ子、永浜由紀子
亘理町亘理婦人会：小泉えみ子、若松捷子、佐藤キクヨ、渡辺みつ江、高橋泰子、齋藤クニ、齋藤アキ子、那須せつ子、菊地洋子、岩見富子、佐藤節子、丹野敦子、三戸部とし江、小野寺貞子、金沢桂子、太細日出美、尾形ミエ子、松本あや子、相原成子、佐藤照子、佐藤徳子、佐々木恵美子
塩釜市婦人会：浅野ひろ子、菅原盛子、我妻キクエ、佐々木和恵、瀬戸勝子、佐藤文子、中村和子、石川とし子。三浦あい子、阿部かほる、内海みな子、小野和恵、阿部豊子、鈴木綾子、千葉栄子、鈴木禮子、田中さよ子
大和町吉岡婦人会：安曇公子、馬場ふみ子、波間妙子、大山寿子
石越町婦人会：千葉秀子、千葉喜久子、高橋弘子、千葉妙子、大沼和子、川嶋敦子
利府町婦人会：一条公子、小林いく子、伊藤みつ子

■賛助会員（個人）

亀山喜美子、佐伯晴郎、村上卓也、佐々木海風、山口正一、髙橋正子、尾坂芳夫、志賀宣子、中沢きく子、菅原喜美子、阿部はつえ、阿部純二、安達三郎、阿部英見、岩田孝夫、片岡秀雄、加藤暢郎、橘川光男、紺野久子、佐藤孝之助、代理店北斗佐藤不二夫、島田平八、高橋治、嶋美香、市川信昭、山口正彦、佐藤長三、髙橋龍郎、高橋哲男、菅原傳、早坂純、萩田みつ子、石川ひてみ、安海こう子、渥美ヤエ子、乙坂ひで、皆瀬明、八島ふみ、櫻田寛、櫻田孝子、小林茂夫、石井よね子、菅井正治、泉あさの、内海春壽、田中一寿、岡嶋徹、亀山米子、高橋了子、荒木昭、黒川平司、熊谷豊吉、福地俊明、髙橋敬一、安住泰子、阿部美津江、関口清、佐々木正躬、阿部絹枝、越後愛子、及川力、木村冨士、清藤恭雄、佐々木健次、羽賀亨、我妻幸充、菊池きい、後藤みよ子、久保田光子、佐々木博司、佐藤京子、嶺栄松、五十嵐光子、岩田恒一、三浦みよ子、鈴木八郎、松坂英明、阿部せつ、門間典子、我妻宗夫、亀岡直樹、佐野國男、坂田雄一郎、澤田幸男、桜田良子、笹原啓子、千葉綾子、三島卓郎、千葉勝雄、森健一、佐藤好子、犬飼健郎法律事務所、佐藤たま、織田信夫、小川七三、石岡義雄、渡辺正次、阿部利子、加美ひさ、木村亨、鈴木ハツヨ、曽根清秀、土井敏暉、五島さよ子、藤代大、海川ヒデ、安藤裕子、三浦末枝、小松亀一法律事務所、髙橋堅固、菅原きよ子、伊藤孝子、只野一宏、石川宏一、湯田教恵、千坂みゆき、三部哲也、井上眞由美、伊東信吉、三塚篤、斎藤淳子、泉田京子、金野知佐子、布田直樹、菊地章子、桃井貞夫、高橋是清、小笠原渉

賛助会員(個人･法人の継続寄付)募集中

当協会では、がんに関する正しい知識の普及啓発、がんの早期発見・早期治療のための調査研究、がん登録管理等の事業を行っています。このような事業活動は皆様からの尊い寄付により支えられています。

なお、寄付金については**税制上の優遇措置**を受けることができます。個人の方の場合、従来までの「所得控除方式」に加え、新たに**「税額控除方式」**も適用されることになりました。確定申告の際にどちらかを選択して控除を受けることが出来ます。

《 寄付金の種類 》

- **賛助会員寄付**　協会の活動をご支援いただき、毎年ご寄付をしてくださる方
  - 個 人 会 員　　1口　1,000 円以上の寄付者（個人）
  - 法 人 会 員　　1口 10,000 円以上の寄付者（団体・法人）
  - 特定維持会員　　寄付金の額を定めて「がん征圧運動」に一層の協力支援をいただいている法人
- **篤志寄付**　協会の活動に対する一時的な寄付金
- **黒川基金**　黒川利雄がん研究基金のためと使用を指定した寄付金

がん征圧に向けた、あたたかいご支援ご協力をお待ちしております。

ご寄付のお申込、お問い合わせは下記までお願いいたします。

公益財団法人　宮城県対がん協会・がん検診センター
〒 980-0011 仙台市青葉区上杉 5-7-30
TEL 022-263-1525　FAX 022-262-3775

平成25年度
「黒川利雄がん研究基金」
研究助成金希望者募集

この基金は、当協会の初代会長である故黒川利雄先生の遺志を継ぎ、がんの予防及び早期発見、治療に関する技術の開発等に係わる若手研究者に対し、研究助成を行うことを目的に平成元年に創設されました。

平成24年までに、99人に対し6,470万円の助成金を交付しています。

1　研究対象分野と応募資格

我国のがん予防および早期発見に関する技術の開発等、がん対策に係わる研究を行う50歳未満の個人および団体で、以下の研究分野を対象とする。

（1）がんの疫学および集団検診に関する調査・研究・開発
（2）がんの早期発見および治療に関する調査・研究・開発

2　申請手続き

申請者は宮城県対がん協会の理事または、貴所属長の推薦を受けた者とする。

3　応募件数および推薦件数

1個人・1団体または共同研究グループで1件とし、推薦件数も1人1件とする。

4　助成金の額

助成総額は**220万円**とし、研究助成金1件あたり**100万円**を限度とする。

5　応募手続き

応募希望者は下記宛に**ハガキ**または**FAX**で申し込むか、当協会ホームページより**申請書類をダウンロード**の上申し込むこと。

〒980-0011　仙台市青葉区上杉5丁目7番30号
公益財団法人 宮城県対がん協会「黒川利雄がん研究基金」事務局 宛
TEL 022-263-1637　FAX 022-263-1548　http://www.miyagi-taigan.or.jp

6　募集期日

【公　　募】 平成25年1月　　【応募締切り】 平成25年3月末日

7　発表交付

【発　　表】 平成25年5月　　【交　　付】 平成25年6月

編集・発行／公益財団法人 宮城県対がん協会法人事業課 〒980-0011 仙台市青葉区上杉五丁目7-30 TEL:022(263)1525 FAX:022(263)1548
ホームページアドレス:http://www.miyagi-taigan.or.jp　Eメールアドレス:office@miyagi-taigan.or.jp